

平成 2 7 年 度 事 業 報 告

自 平成 2 7 年 4 月 1 日

至 平成 2 8 年 3 月 3 1 日

公益財団法人 海 原 会

平成 27 年度 事業報告書

自 平成 27 年 4 月 1 日
至 平成 28 年 3 月 31 日

公益財団法人 海原会は、その前身である「豫科練の碑保存顕彰会」が昭和 42 年 5 月に発足して以来約半世紀の長きにわたり豫科練戦没者の慰霊と顕彰の為の事業を継続して参りました。

しかしながら、必然的に会員の高齢化が進みその結果として物故者が年毎に増加していること、更に体調を崩し気力は有っても行動が伴わないという現実の厳しさが増加傾向にあり、会員数も千名を割り込み、会の運営が徐々に難しくなっていることは遺憾ながら否めない現実であります。27 年度はこのような現状に鑑み、会の目的であります豫科練戦没者の慰霊と顕彰の為の活動に従事するかたわら、会員の募集にも力を入れて参りました。

また、11 月には内閣府公益認定委員会の立ち入り検査を受検しました。平成 21 年に公益財団法人に認定されて以来 5 年間に及ぶ法人運営について、いくつかのご指摘をいただきましたが、その運営は概ね適切に行われている旨の評価を頂きました。指摘事項につきましては出来るだけ早急に改善し引き続き健全な運営に努めていきたいと考えております。

若くして自らの命を投げ打って国難に殉じた豫科練同窓英霊の思いを継承するという当会の目的を達成するために、平成 27 年度の事業も全員が一丸となって精進してまいりました。

以下その概要を御報告いたします。

I 慰霊顕彰事業

慰霊顕彰事業の最も重視しているものは、陸上自衛隊武器学校の敷地内に造営されている「雄翔園」における「豫科練戦没者慰霊祭」であります。平成 27 年度は若葉薫る 5 月に実施いたしました。青葉若葉の初夏の香りを感じさせる快晴のもと約 400 名の同窓生及びご来賓の皆様が、日本全国からご参列頂き、厳粛かつ和やかな慰霊祭を挙行することができました。特に、27 年度はご遺族代表として乙飛第 6 期故中西義男 海軍少尉の実弟中西明様に出席をいただくとともに、陸上自衛隊武器教導隊の常陸陣太鼓・陸上自衛隊勝田駐屯地音楽隊の支援に加えて、海上自衛隊下総教育航空群の、対潜哨戒機による慰霊飛行と隊員による儀仗隊の支援いただく等、盛大

に挙行することが出来ました。

また、「豫科練戦没者慰霊祭」以外に全国各地で行われた慰霊祭にも、海原会役員を出席させる等本会の目的である豫科練出身戦没者の慰霊・顕彰を推進しました。その主要なものは以下に記述するとおりであります。

1 第48回豫科練戦没者慰霊祭

(1) 日 時 平成27年5月24日(日) 午前10時30分

(2) 場 所 陸上自衛隊武器学校内 「雄 翔 園」

(3) 実施内容

ア 慰霊式典

(ア) 式典開始に先立ち、海上自衛隊下総教育航空群所属のP3C1機、及び日の丸飛行隊所属セスナ2機による慰霊飛行が実施されました。

(イ) 実行委員長 酒井副理事長の開式の辞に引き続き、国歌吹奏・献火・高松宮妃殿下御歌奉詠・式辞・遺稿朗読・献花・来賓挨拶ご遺族の言葉と続き参加者全員で若鷲の歌を合唱して無事式典を終了しました。

イ 雄翔館及び豫科練平和記念館の見学

今年度も式典終了後、直会開始までに約1時間の間隙を設け雄翔館の見学を参加者の皆さんに行って頂きました。

ウ 直 会

慰霊式典に引き続き、約300名のご遺族並びにご来賓の皆様をお招きして、直会を実施しました。直会は、阿見町長 天田富司男様のご挨拶に引き続き、阿見町町議会議長の柴原成一様の献杯ご発声により開始され武器学校所属の常陸陣太鼓の慰霊演奏など、会員相互に懇親の実をあげて終了しました。

2 全国各地で挙行された慰霊祭への参加

平成27年 4月 6日 豫科練雄飛会総会及び慰霊祭 於靖国神社
堺理事長、酒井副理事長・助村理事・福田理事が出席しました。

20日 東京甲飛会の絆を守る集い慰霊祭(靖国神社)
津島評議員、助村理事出席

6月13日 第43回静岡空襲日米合同慰霊祭
菅野理事が主催

- 7月10日 東郷神社みたま祭り
- 8月26日 予科練雄飛会2015秋の懇親会
於 市ヶ谷宮崎会館
助村理事、平野理事、福田理事が出席
- 9月 1日 全国甲飛会永代神楽祭
津島・久保山・大石評議員・助村事務局長出席
- 9月13日 零戦の会慰霊祭・総会 於靖国神社
酒井副理事長、助村事務局長、福田理事参列
- 9月23日 特攻平和観音年次法要 於世田谷観音寺
塚理事長・助村事務局長、津島、岩館、渡辺、
手塚評議員参列
- 10月4日 阿見町豫科練平和記念館開館5周年記念行事
酒井副理事長、徳永支部長、平野理事参列
阿見町町長から感謝状を授与される。
- 3月26日 第37回特攻隊合同慰霊祭 於 靖国神社
酒井副理事長・助村事務局長・平野理事出席

II 定期刊行物発行事業

機関誌月刊「豫科練」は、発刊以来427号を数えております。

その編集にあたっては、全国各会の活動状況の紹介や、豫科練同窓の戦争体験談等ご遺族の皆様には喜ばれるような内容の充実に力を入れてきました。

本年度は豫科練訪問記として行方参与のご遺族訪問記の連載を実施し部内外から高い評価を頂きました。特に、第430号に掲載された記事「海軍の伝統」に海上自衛隊下総教育航空集団司令官が関心を持たれ、その後の海上自衛隊との交流のきっかけとなりました。

引き続き投稿を依頼するなど内容の充実に図っていきたいと思います。

また、同誌に投稿をしていただいた方に記事が掲載された機関誌を贈呈することにより会員以外の購読者の発掘につなげることができました。

1 編集会議

計画どおり、年間6回の編集会議を海原会事務局会議室で行いました。

2 機関誌の発行

計画どおり、第428号から第433号までの6回の機関紙の発行を行いました。

III 青少年育成支援事業

青少年育成のため、会員から候補団体などの情報を収集して、理事会に図ったう え支援を行うように努めました。今年度は特に新しい支援候補団体の推薦もなく 例年どおり雄翔園所在地元の阿見町が主宰をする球技大会に対して助成を行いま した。

IV 遺書・遺品・実戦記録等の整備

海原会ではご遺族に残された遺書・遺品・実戦記録などを収集して、後世に伝える ための事業を着実に推進しています。27年度は、逝去された同窓会員のご遺族から 多くの資料を提供していただきましたが、その整理は未着手であり次年度への繰り越 し作業となりました。

1 雄翔館展示の戦没者紹介パネル及び遺品等の展示の見直しを実施しました。

今年度は更に展示内容の充実を推進しました。特に、雄翔館整備の間海原会 の所蔵庫に保管をしていた遺品や写真などを可能な限り展示して、来館される 皆さんに豫科練を肌で感じて頂ける展示を目指して整備をいたしました。

2 海原会所蔵の遺書・遺影等の電子データ化を推進しました。

戦没豫科練生に関する資料等の入手に伴い、関連する戦没者紹介ポスターを 新たに作成あるいは各ポスターの記載内容の充実を図りました。

また、海原会で保管をしている遺書・遺品等の写真データ化の内容の充実を 図りました。

V 遺族支援調査

ご遺族も年々亡くなられて、親の代から兄弟・姉妹へと移り、中には孫の代に なり、世情も戦争犠牲者への関心が薄れだんだん風化されつつある現状を鑑み、 音信不通のご遺族の所在を調査して会報を送付し、また本会主催の慰霊祭は勿論 のこと、各地各期が催す慰霊祭にも出席の勧誘を実施して参りました。

IV 庶務事項

(1) 理事会開催

月1回の定例理事会を海原会事務局会議室において、計画どおり実施しまし た。

平成27年4月24日 5月15日 6月12日 7月24日 8月21
日 9月18日 10月23日 11月20日 12月18日

平成27年1月22日 2月12日 3月17日

(2) 編集会議

機関誌月刊「豫科練」の編集会議を海原会事務局会議室において実施しまし た。

(3) 平成27年度評議員会開催

平成27年6月12日 於霞ヶ関ビル東海大学交友会館において、平成26年度事業報告・収支決算報告・会計報告及び平成27年度事業計画・収支予算案の審議を行い、賛成多数で可決されました。

(4) 内閣府 公益認定等委員会事務局担当官の定期立ち入り検査受検

平成27年11月19日(木)に、海原会の運営状況等について3年に1回実施される立ち入り検査を受検した。

当日は検査官2名が大森の事務局を訪問され、事業内容や関連規則及び経理状況などについて検査が行われました。

指摘頂いた事項については早期に改善を図り、より健全な会の運営を目指します。

(5) 会計監査

平成27年4月24日 海原会会議室において、平成27年度の評議員会の開催に先立ち、平成26年度の経費執行状況について監事2名による監査を実施し、平成26年度海原会の事業運営及び経費執行に関して問題のないことを確認しました。